



ファームウェアバージョン:	R3.15beta07rc098
ハードウェアバージョン:	B1
発行日:	2016/1/27

本リリースノートには、D-Link 製アクセスポイントのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のアクセスポイントに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいアクセスポイントにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のアクセスポイントがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。

アクセスポイント本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次：

変更履歴とシステム要件：	2
アップグレード手順：	2
Web GUI を使用したアップグレード	2
追加機能：	4
修正した問題点：	4
既知の問題：	5

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
R3.15beta07rc098	2016/1/27	DAP-2690	B1

注意事項：

- 1.本ファームウェアは、DAP-2690 H/W バージョン B1 用のファームウェアです。必ずご使用の H/W バージョンをご確認の上、ファームアップを行ってください。
- 2.本ファームウェアにおいて、Captive Portal 機能を追加しており、URL リダイレクト機能は統合を行っているため、URL リダイレクトのコンフィグが引き継がれません。
恐れ入りますが、本機能をお使いの場合は、本ファームウェアにファームウェアアップグレード後、再設定を行ってください。

アップグレード手順：

ファームウェアのアップグレードは、Web GUI から行うことができます。アップグレード方法は次の「[WEB GUI を使用したアップグレード](#)」の手順に従い進めてください。

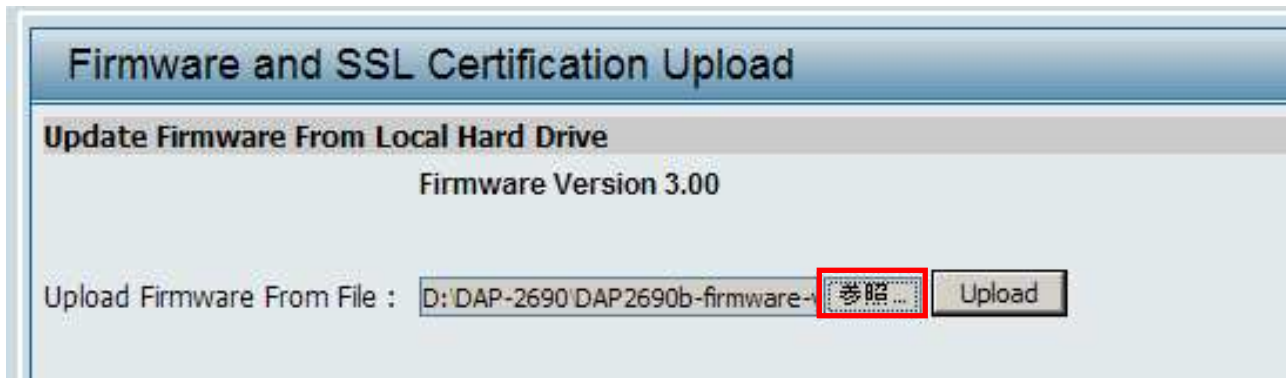
Web GUI を使用したアップグレード

1. 本製品と設定用の PC を接続後、WEB ブラウザを立ち上げ、アドレスバーに WEB GUI の管理画面を表示します。
※工場出荷時状態の IP アドレスは <http://192.168.0.50> です。
2. WEB GUI のログイン画面が表示されたら、ユーザ名とパスワードを入力し、ログインしてください。
※工場出荷時状態のユーザ名は「admin」、パスワードを「空白」です。
3. ログイン後、上部のメニューから「Maintenance」->「Firmware and SSL Certification Upload」の順でクリックします。



4. ログイン後、上部のメニューから「Maintenance」->「Firmware and SSL Certification Upload」の順でクリックします。

5. 「Firmware and SSL Certification Upload」画面が表示されたら、「Update Firmware From Local Hard Drive」の「参照」ボタンをクリックし、ローカルのハードディスクに保存した本ファームウェアを選択します。



6. ファームウェアを選択した後、「Upload」ボタンをクリックして、ファームウェアをアップデートします。



注意：ファームウェアのアップデート中に、電源を切らないでください。アップデート中に電源を切ると、起動に失敗し、正常に起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

7. ファームウェアのアップデートを開始すると、下記の画面が表示されます。



8. ファームウェアが正常に終了するとログイン画面が表示されます。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
R3.15beta07rc098	<ol style="list-style-type: none"> 1. Captive Portal 機能を実装致しました。 2. AP Array version2.01 に対応致しました。 3. SSID ごとの MAC Filter 設定をサポート致しました。 4. Wireless Resource Control 機能をサポート致しました。

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R3.15beta07rc098	<ol style="list-style-type: none"> 1. DFS でチャンネルが変わっても UI でのチャンネル表示が最初のチャンネルのまま変更されない問題を修正致しました。 2. Prove Response に含まれる情報の一部を修正致しました。 3. WLAN Statistics を表示した際、稀に再起動する問題を修正致しました。 4. IPv6 の Auto Mode を有効にすると CPU 高負荷になる問題を修正致しました。 5. IPv6 を有効な状態で、AP Array が有効にできる問題を修正致しました。 6. AP Array にて、Backup Master が Master Role にならない問題を修正致しました。 7. 認証モードを変更した際、ワイヤレスモードが mixed b/g/n もしくは mixed a/n モードに戻る問題を修正致しました。 8. 5Ghz にて、W56 チャンネルをご利用の際、マルチ SSID を有効にしていると、Intrusion 及び Channel Analyze が動作しない問題を修正致しました。 9. AP クライアントモードを有効にした場合、IPv6 で WebUI にアクセスできない問題を修正致しました。 10. AP が IPv6 グローバルアドレスを取得できない問題を修正致しました。 11. AP Array を有効にすると数日経過後に、通信ができなくなる問題を修正致しました。 12. シスログサーバへのシスログ送信を停止する問題を修正致しました。 13. Internet Explorer8、9、11 において、HTTPS 経由でログインができない問題を修正致しました。 14. ワイヤレスモードが 11n only モードの場合に、マルチキャストレートステータスが正しくない問題を修正致しました。 15. Ethernet to WLAN を無効にしていると、インターネットアクセスができない問題を修正致しました。 16. VLAN が有効な SSID に STA がアソシエートした際、STA のアップロードトラフィックの帯域制御機能が動作しない問題を修正致しました。 17. 設定変更により、CPU 高負荷になることがある問題を修正致しました。 18. マルチ SSID で WEP-128、ASCII に設定すると、STA が接続できないことがある問題を修正致しました。 19. Backup RADIUS サーバが動作しない問題を修正致しました。 20. Rogue AP スキャンを行うと、ソートした結果をリセットする問題を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
R3.15beta07rc098	<ol style="list-style-type: none">1. AP Array Configuration の Band 設定が機能しない問題。2. Captive Portal のは、認証方法(Passcode/Remote Radius 等)を同一に設定した SSID の全てで認証され、SSID の移動後に再認証されません。3. WebUI において、IPv6 の HTTPS をサポートしていない問題。4. IPv6 と AP Array は併用できません。

Copyright 2006-2016 D-Link Japan K.K.